



『QCサークル』誌 2025年11月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

p.2～

㈱オーツカ 代表取締役社長 大塚 有企朗 さん

小集団改善活動はあくまで手段ととらえています。私は期待しているのは、職場の中で困っている人や問題をサークルでどう助け、改善や解決につなげていくかです。当社は創立以来、「誠心誠意」、「努力」、「思いやり」を社訓として大事にしてきましたが、仲間を助けるのはまさに「思いやり」の部分。そして困りごとや問題の現状を科学的に見極め、改善していくためにどのように努力していけば、よりよい結果や成果につながるか。それをサークルとしてどう成し遂げていくかということが、まさに小集団活動だと思っています。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.5～

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 北海道済生会 小樽病院

日本最大の社会福祉法人といわれる恩賜財団済生会は、1911年に設立されました。全国40都道府県で医療・保健・福祉分野の活動を展開しており、その中で北海道の小樽病院を訪ねました。当院では20年近く前からQCサークル活動を導入しており、今は基本に立ち返りつつも裾野を大きく広げようとしています。活動未経験者にも積極的に働きかけ、各サークルが活発な活動を行えるよう、経営改善のキーマンとして推進に取り組んでいます。

★特集：役立つ QC 七つ道具にする教え方

p.9～（サークル、一般者(標準)、改善）

QC七つ道具を教えようとする時、実際に問題解決に役立たないなどの問題があると、使われなくなってしまいかねません。今回の特集では、QC七つ道具から必要な情報が得られるようにするための、“使い方”が身につくための教え方を取り上げています。作成手順の説明に終始するのではなく、“役立つQC七つ道具”とするため、「なるほど!」と思ってもらえる教え方のヒントを用意しました。教育訓練を行う推進事務局やサークルリーダーはもちろん、サークルメンバーにも参考になる内容になっています。ぜひ読んでいただき、実際に役立てていただきたいです。

★推進者のページ：こんな推進者になりたい ～役割とその責任を理解し実践する～

p.23～（管理者／事務局、運営／推進）

第11回 困った管理者の対処法を教えてください

理想的な管理者とは、活動の活性化をねらって、自身が積極的にサークルに働きかけ、サークルのよい点を伸ばしてやろうとする思う管理者でしょう。しかし、指示命令で活動させようとする管理者や、逆にまったく何も言ってくれない管理者もいます。今月は、このような管理者をどう指導・育成すればよいのかについて考えます。管理者の指導スタイルを整理しその特徴をあげながら、管理者に関するよくある疑問・質問とその対処方法を見ていきます。

★サークル Q&A ただいま出勤 QC サークル 119 番～あなたの困りごとに寄り添います～

p.30～

カルテ 196

今月号では、QCサークル活動に対して苦手意識を持つ人に、それを払底するための方法を考えていきます。苦手意識を持つようになったきっかけ、苦手意識の要因をしっかりと考えて整理しておくことが必要でしょう。

QCサークル活動では目的意識を持つことが大変重要で、その目的に基づいてどのように進めるかを押さえておくといでしょう。楽しんで活動を進めるコツを紹介します。

★体験事例&ワンポイント事例

今月は、体験事例2件を紹介します。

体験事例：p.32～

1.（サークル、製造、改善）

トヨタ自動車㈱ 東富士研究所 「e→モビサークル」

「家の電気は車から 大電力化に向けた評価コイル作製方法の確立」

2.（サークル、製造、改善）

㈱福井村田製作所 武生事業所 「CANDY サークル」

「内部構造検査における側面チップの撲滅」

★運営のページ QC サークル活動運営の基本を学ぶ ー運営の工夫で楽しく活動してみませんかー

P.44～（サークル、運営／推進）

第11回 相互啓発のための工夫

本ページは、『QCサークル活動運営の基本』（QCサークル本部編）に書かれているような基本的な事項を一つひとつ取り上げて解説します。活動を始めたばかりのサークル、活動経験はあるものの疑問や不安を感じているサークルなどに、運営について体系的に学んでもらうことがねら

いです。今月は、QC サークル活動によって行われる相互啓発について、相互啓発を生む場を紹介し、それを活かすための工夫について見ていきます。

★私たちの活動を紹介します！<JHS(含む医療・福祉)部門編>

P.46～

社会福祉法人福寿園 田原福寿園 「けやきⅢ世サークル」

サークルに改善の背景や内容を、推進者にはサークルの育成方法について紹介いただくページです。今月は、「ユニマチュード」をていねいに実践する中で、基本定なかわりの「質」を見直した印象的な取組みを紹介しています。職員同士の学び合い、利用者の尊厳を大切にする文化づくりへの広がりがある活動です。活動を進めていくうえでの課題や悩みを共有する仕組みも参考になります。

★QC検定道場

P.48～（サークル、一般者(標準)）

第11回 ヒストグラムと工程能力指数

今月号は、2025年3月に実施された第39回品質管理検定（QC検定）の3級問題を取り上げ、解説しています。品質をよくするためには、ばらつきを小さくすることが必要です。ばらつき状況を見える化するための代表的な手法であるヒストグラムを理解し、工程能力指数を学んでいきましょう。

★連載講座：「QC的ものの見方・考え方」の基礎に学ぶ

p.54～（サークル、一般者(標準)）

第5回 「手段に関する考え方-3」について

この連載では、7月号から12月号まで6回にわたり、「QC的ものの見方・考え方」というQCの基礎的内容について、読者のみなさんとともに勉強していきます。

第5回では、「目的志向」、「重点志向」、「事実に基づく管理」の考え方について、身近な事例を挙げながら解説していきます。読者の皆さんの毎日の業務に役立ててください。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページ http://www.juse.or.jp/qc_circle/をご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL：03-5378-9817 E-mail： editoqcc@juse.or.jp

